



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 株式会社リグア 上場取引所 東
コード番号 7090 URL <https://ligua.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 紀彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大浦 徹也 TEL 06 (7777) 0159
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,514	△5.8	△5	-	△43	-	△61	-	△81	-
2024年3月期中間期	1,607	30.0	47	-	△33	-	△53	-	△73	-

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △81百万円 (-%) 2024年3月期中間期 △73百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△54.91	-
2024年3月期中間期	△51.39	-

(注) 1. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	3,802	539	14.2
2024年3月期	3,869	604	15.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 538百万円 2024年3月期 604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,358	△2.1	132	12.3	120	28.1	89	△14.2	60.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	1,511,800株	2024年3月期	1,510,600株
2025年3月期中間期	21,718株	2024年3月期	28,668株
2025年3月期中間期	1,483,308株	2024年3月期中間期	1,425,354株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法）

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載いたします。また、代表取締役社長による決算説明の動画を当社ウェブサイトにて配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)におけるわが国経済は、インバウンド消費の増加や人手不足に伴う人件費の増加などの雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、海外情勢の悪化や為替の影響による物価高を背景としたエネルギーコスト・原材料費の上昇等により、景気が下押しするリスクがあります。

このような状況の中、当社グループは「DESIGNING WELLNESS LIFE」というパーパスのもと、「人生から不安をなくし、生きるをサポートする。」企業グループとして、人生における2つの不安「からだ」の不安をなくすウェルネス事業と「おかね」の不安をなくすファイナンシャル事業を展開しており、誰もが心から豊かで前向きになる“Wellness Life”が溢れる社会の実現を目指しております。

「からだ」を担うウェルネス事業では、当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」「SLEEPINSTANT」をはじめとしたIFMC.製品を使用した新メニュー(血流改善プログラム等)の導入を積極的に取り組んでまいりました。また、ソフトウェア分野において、2024年5月1日付で「Ligoo POS & CRM」及び「レセONE」を株式会社スマレジに事業譲渡いたしました。

「おかね」を担うファイナンシャル事業では、保険代理店、金融商品仲介業(IFA)、財務コンサルティング等の経営支援を軸とするゴールベース・アプローチに基づいた総合金融コンサルティングサービスの提供を行ってまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は売上高1,514,391千円(前年同中間期比5.8%減収)、営業損失43,948千円(前年同中間期は33,323千円の営業損失)、経常損失61,313千円(前年同中間期は53,342千円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純損失81,446千円(前年同中間期は73,243千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<ウェルネス事業>

ソフトウェアは、接骨院向けシステムの販売や保守を行いました。また、「Ligoo POS & CRM」及び「レセONE」の事業譲渡を行った結果、売上高は128,103千円(前年同中間期比42.2%減)となりました。

機材・消耗品は、接骨院での自費施術メニューの拡大をする為の機材及び機材に付属する消耗品を販売しました。健康サポートの営業に注力したため、売上高は108,143千円(前年同中間期比10.1%減)となりました。

コンサルティングは、接骨院の幹部または幹部候補者向けの研修及び新規利用者の獲得を目的としたWebコンサルティングを行いました。前期に顧客の一部を売却したこと、コンサルタントの減少に伴い、コンサルティング契約が減少したこと等により、売上高は178,330千円(前年同中間期比39.1%減)となりました。

請求代行は、接骨院等における事務負担の軽減を目的とした療養費請求代行サービスを展開し、新規顧客開拓により会員数が増加しました。療養費早期支払サービスも貸付残高が増加したことにより、売上高は192,112千円(前年同中間期比5.9%増)となりました。

健康サポートでは、IFMC.技術を用いた当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」「SLEEPINSTANT」を販売しております。導入院数は順調に増加しているものの、昨年度対比では新規導入数が減少した結果、売上高は344,099千円(前年同中間期比4.1%減)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は950,790千円(前年同中間期比19.1%減)、販売費及び一般管理費の減少に伴い、営業利益は6,458千円(前年同中間期比65.5%減)となりました。

<ファイナンシャル事業>

保険代理店は、ウェルネス事業を展開する当社グループ及び提携先からの紹介等により生命保険及び損害保険の募集活動を行いました。また、売上高は253,868千円(前年同中間期比7.5%減)となりました。

金融商品仲介業(IFA)は、金融政策によるマーケットの影響がありましたが、積極的な営業展開を行った結果、売上高は245,523千円(前年同中間期比99.3%増)となりました。

経営支援・手数料は、当中間連結会計期間より「その他」から名称変更しております。また、「ウェルネス事業」セグメントの「コンサルティング」に区分されていた接骨院向け財務コンサルティングを計上しております。当中間連結会計期間は手数料売上が増加したこと等により、売上高は64,210千円(前年同中間期比85.1%増)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は563,601千円(前年同中間期比30.4%増)、営業損失は50,406千円(前年同中間期は52,034千円の営業損失)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

資産

当中間連結会計期間末の資産合計は3,802,870千円となり、前連結会計年度末と比べ66,470千円の減少となりました。

流動資産は3,284,132千円となり、前連結会計年度末と比べ161,355千円の増加となりました。これは主に営業貸付金が166,675千円、商品が66,243千円減少したものの、現金及び預金が329,957千円、売掛金が59,358千円増加したことによるものであります。

固定資産は518,738千円となり、前連結会計年度末と比べ227,826千円の減少となりました。これは主に、事業譲渡等によりソフトウェアが131,604千円、ソフトウェア仮勘定が36,020千円、繰延税金資産が16,357千円減少したことによるものであります。

負債

当中間連結会計期間末における負債合計は3,263,509千円となり、前連結会計年度末と比べ932千円の減少となりました。

流動負債は2,323,305千円となり、前連結会計年度末と比べ155,288千円の減少となりました。これは主に、短期借入金が193,272千円、未払法人税等が28,526千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が73,831千円、預り金が40,206千円増加したことによるものであります。

固定負債は940,203千円となり、前連結会計年度末と比べ154,355千円の増加となりました。これは主に、長期借入金が154,430円増加したことによるものであります。

純資産

当中間連結会計期間末における純資産は539,361千円となり、前連結会計年度末と比べ65,538千円の減少となりました。これは、主に、自己株式処分差益を5,852千円計上、譲渡制限付株式報酬費用としての自己株式を9,854千円処分したものの、親会社株主に帰属する中間純損失を81,446千円計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は1,628,848千円となり、前連結会計年度末と比べ328,156千円の増加となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果、得られた資金は104,910千円(前年同中間期は393,038千円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失47,586千円を計上したこと、売上債権の増加額60,727千円、仕入債務の減少額21,741千円、未払消費税等の減少額38,209千円があったものの、営業貸付金の減少額166,675千円、棚卸資産の減少額66,507千円、預り金の増加額40,206千円等によるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果、得られた資金は188,057千円(前年同中間期は909千円の収入)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出3,534千円、無形固定資産の取得による支出9,579千円があったものの、事業譲渡による収入193,962千円等によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果、得られた資金は35,188千円(前年同中間期は184,096千円の収入)となりました。これは、短期借入金の減少額193,272千円、長期借入金の返済による支出291,739千円があったものの、長期借入れによる収入520,000千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期(中間期)は当初策定した業績予想の範囲内であると認識しているため、現時点では2024年5月9日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想数値から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,327,394	1,657,351
売掛金	315,608	374,967
営業貸付金	675,368	508,692
商品	322,008	255,765
原材料及び貯蔵品	30,698	30,434
リース債権及びリース投資資産	331,714	309,583
その他	122,631	150,189
貸倒引当金	△2,646	△2,851
流動資産合計	3,122,777	3,284,132
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	111,427	114,233
減価償却累計額	△41,679	△45,553
建物附属設備(純額)	69,747	68,679
車両運搬具	15,643	13,946
減価償却累計額	△15,643	△13,946
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	137,317	141,196
減価償却累計額	△92,522	△100,915
工具、器具及び備品(純額)	44,795	40,280
建設仮勘定	3,258	3,258
有形固定資産合計	117,801	112,218
無形固定資産		
ソフトウェア	170,640	39,035
ソフトウェア仮勘定	36,970	950
顧客関連資産	2,533	—
のれん	123,650	115,141
その他	682	572
無形固定資産合計	334,476	155,700
投資その他の資産		
繰延税金資産	193,341	176,984
その他	104,189	77,436
貸倒引当金	△3,244	△3,601
投資その他の資産合計	294,286	250,819
固定資産合計	746,564	518,738
資産合計	3,869,341	3,802,870

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,831	27,089
短期借入金	1,100,000	906,727
1年内返済予定の長期借入金	527,306	601,137
未払金	123,442	101,823
未払費用	143,043	160,737
未払法人税等	48,890	20,364
未払消費税等	85,235	64,659
契約負債	28,518	28,444
預り金	327,308	367,515
賞与引当金	34,001	33,391
その他	12,014	11,414
流動負債合計	2,478,593	2,323,305
固定負債		
長期借入金	764,637	919,067
資産除去債務	21,088	21,136
繰延税金負債	121	—
固定負債合計	785,847	940,203
負債合計	3,264,441	3,263,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,164	551,265
資本剰余金	470,132	476,085
利益剰余金	△386,951	△468,397
自己株式	△29,856	△20,002
株主資本合計	604,489	538,950
新株予約権	411	411
非支配株主持分	—	—
純資産合計	604,900	539,361
負債純資産合計	3,869,341	3,802,870

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,607,104	1,514,391
売上原価	777,679	608,993
売上総利益	829,425	905,398
販売費及び一般管理費	862,749	949,347
営業損失(△)	△33,323	△43,948
営業外収益		
受取利息	3	224
受取保険金	—	436
保険解約返戻金	1,589	—
その他	206	30
営業外収益合計	1,799	690
営業外費用		
支払利息	10,101	13,496
株式報酬費用消滅損	11,597	4,512
その他	119	46
営業外費用合計	21,818	18,054
経常損失(△)	△53,342	△61,313
特別利益		
事業譲渡益	—	13,726
特別利益合計	—	13,726
特別損失		
固定資産売却損	14	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	14	0
税金等調整前中間純損失(△)	△53,356	△47,586
法人税、住民税及び事業税	13,603	17,625
法人税等調整額	6,444	16,235
法人税等合計	20,047	33,860
中間純損失(△)	△73,404	△81,446
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△161	—
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△73,243	△81,446

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△73,404	△81,446
中間包括利益	△73,404	△81,446
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△73,243	△81,446
非支配株主に係る中間包括利益	△161	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△53,356	△47,586
減価償却費	69,402	29,710
のれん償却額	11,262	8,508
事業譲渡損益(△は益)	—	△13,726
保険解約返戻金	△1,589	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△642	561
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,438	△609
受取利息及び受取配当金	△4	△225
支払利息	10,325	13,496
売上債権の増減額(△は増加)	△83,772	△60,727
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	△52,050	22,130
営業貸付金の増減額(△は増加)	△267,004	166,675
棚卸資産の増減額(△は増加)	△68,467	66,507
仕入債務の増減額(△は減少)	△35,189	△21,741
前払費用の増減額(△は増加)	△11,814	△21,517
未払金の増減額(△は減少)	△33,061	△24,967
未払費用の増減額(△は減少)	7,823	17,694
契約負債の増減額(△は減少)	11,656	△73
預り金の増減額(△は減少)	44,329	40,206
未払消費税等の増減額(△は減少)	28,717	△38,209
その他	34,498	23,689
小計	△385,498	159,795
利息及び配当金の受取額	4	224
利息の支払額	△10,427	△14,019
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	2,882	△41,090
営業活動によるキャッシュ・フロー	△393,038	104,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,240	△1,800
有形固定資産の取得による支出	△528	△3,534
無形固定資産の取得による支出	△2,697	△9,579
保険積立金の解約による収入	4,706	—
事業譲渡による収入	—	193,962
敷金及び保証金の差入による支出	—	△11
その他	667	9,020
投資活動によるキャッシュ・フロー	909	188,057
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	386,000	△193,272
長期借入れによる収入	50,000	520,000
長期借入金の返済による支出	△251,904	△291,739
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	200
財務活動によるキャッシュ・フロー	184,096	35,188
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△208,033	328,156
現金及び現金同等物の期首残高	1,149,891	1,300,691
現金及び現金同等物の中間期末残高	941,858	1,628,848

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:千円)

	報告セグメント			中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ウェルネス事業	ファイナンシャル事業	計	
売上高				
ソフトウェア	196,762	—	196,762	196,762
機材・消耗品	56,742	—	56,742	56,742
コンサルティング	292,721	—	292,721	292,721
請求代行	181,365	—	181,365	181,365
健康サポート	358,894	—	358,894	358,894
保険代理店	—	274,465	274,465	274,465
金融商品仲介業(IFA)	—	123,182	123,182	123,182
経営支援・手数料	—	34,686	34,686	34,686
顧客との契約から生じる収益	1,086,486	432,334	1,518,820	1,518,820
その他の収益 (注) 1	88,283	—	88,283	88,283
外部顧客への売上高	1,174,770	432,334	1,607,104	1,607,104
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,174,770	432,334	1,607,104	1,607,104
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	18,711	△52,034	△33,323	△33,323

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:千円)

	報告セグメント			中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ウェルネス事業	ファイナンシャル事業	計	
売上高				
ソフトウェア	122,796	—	122,796	122,796
機材・消耗品	86,311	—	86,311	86,311
コンサルティング	178,330	—	178,330	178,330
請求代行	192,112	—	192,112	192,112
健康サポート	344,099	—	344,099	344,099
保険代理店	—	253,868	253,868	253,868
金融商品仲介業(IFA)	—	245,523	245,523	245,523
経営支援・手数料	—	64,210	64,210	64,210
顧客との契約から生じる収益	923,651	563,601	1,487,252	1,487,252
その他の収益 (注) 1	27,138	—	27,138	27,138
外部顧客への売上高	950,790	563,601	1,514,391	1,514,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	950,790	563,601	1,514,391	1,514,391
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	6,458	△50,406	△43,948	△43,948

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分変更)

当中間連結会計期間より、事業内容をより明確に表現するため、従来「ファイナンシャル事業」セグメント内の「その他」と表記していたものを「経営支援・手数料」に表記変更しております。また、従来「ウェルネス事業」セグメント内の「コンサルティング」に区分していた接骨院向け財務コンサルティングを「ファイナンシャル事業」セグメント内の「経営支援・手数料」に区分変更しております。この変更に基づき、前中間連結会計期間のセグメント情報は、組替えて作成しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。